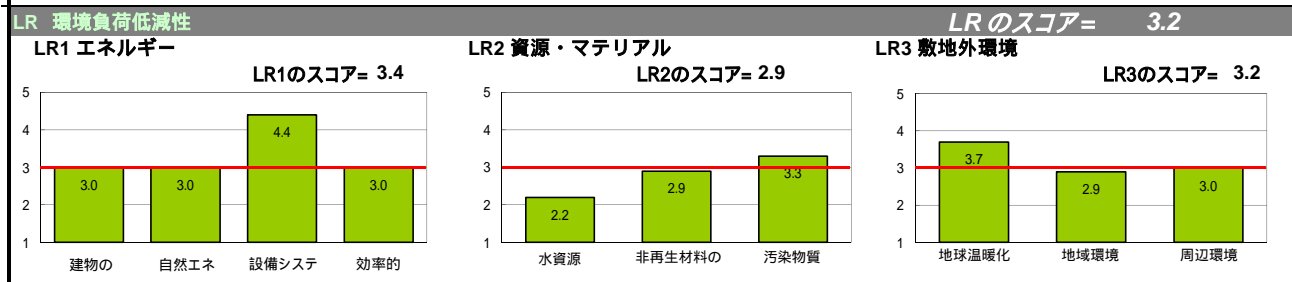
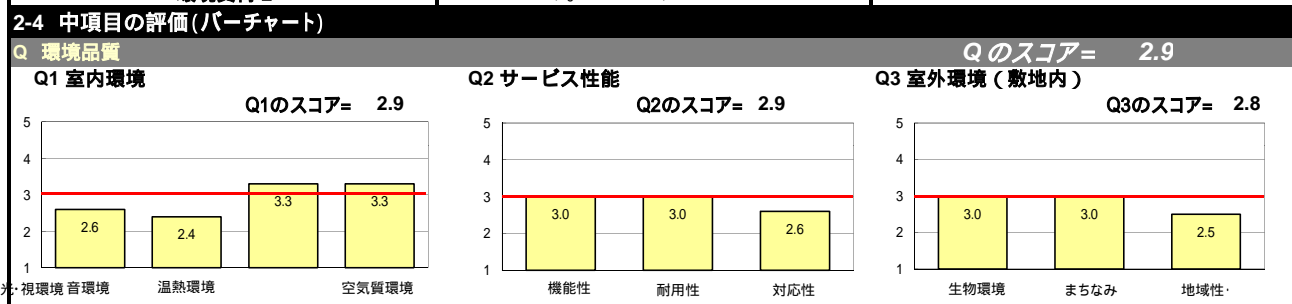
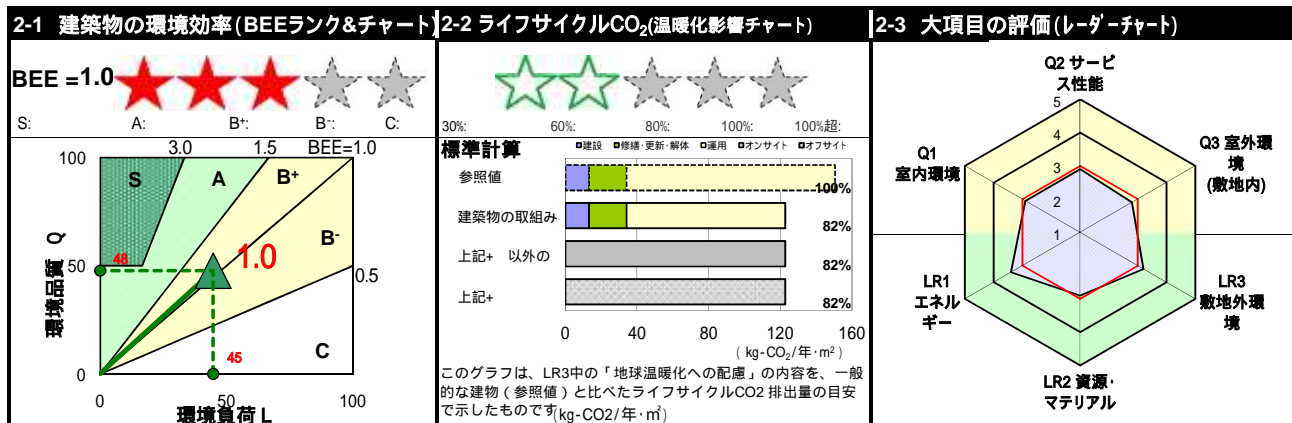


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)センチュリーライフ藤沢大鋸	階数	地上4F
建設地	神奈川県藤沢市大鋸1-12-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	88人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2013年9月3日
敷地面積	1,744 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	930 m <sup>2</sup>	確認日	2013年9月3日
延床面積	3,358 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
バルコニー側は全面にガラス手摺を採用することで圧迫感を低減し、周囲の環境への配慮に努めた。外壁はアースカラーを採用し落ち着いたファサードとした。	0
<b>Q1 室内環境</b> ・省エネルギー等級3相当の断熱を施した。 ・居室には庇及びカーテンレール設置。 ・化学汚染物質は最高ランクのFの部材を70%以上採用とする。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・建物を道路境界からセットバックし、プライバシーを考慮した計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> ・全ての居室が一面以上の外皮に面する計画とし、自然エネルギーの直接利用に配慮。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建築物利用者に対する適正量の駐車場・自転車置場を確保し、周辺道路の渋滞・路上駐車等の抑制に努めた。
<b>Q2 サービス性能</b> ・内装材の配慮をはじめとして、安心して住める住空間計画に努めた。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・二重天井・二重壁により仕上げと躯体が容易に分離可能。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される